

# 令和2年度の主な取組予定について

「野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針(案)」に基づく令和2年度の取組予定

○：令和2年度から実施 継続：令和元年度（以前）から実施  
 済：令和元年度までに完了 -：令和2年度は実施しない 検討中：検討中

取組番号	主な取組項目	目標時期
①逃げ遅れをなくすための避難行動、長期的な避難のための取組		
■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等		
1	広域的な連携に資するタイムラインへの見直し	H30年度
2	避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善(活用訓練等の実施)	H28年度から順次実施
3	上記タイムラインの作成支援	引き続き実施
4	出水期前に協議会においてホットラインの連絡体制を確認	引き続き実施
■ハザードマップの作成・周知等		
5	県管理河川における想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域の公表 ○日野川 ○琵琶湖 ○草津川	H30年度 H30年度 R1年度
6	「地先の安全度マップ」の更新・公表	R1年度
7	県管理区間(野洲川上流、杣川、日野川、草津川、琵琶湖)における想定最大規模の外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表	H29年度から順次実施
8	想定最大規模洪水の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの更新(避難経路の追加等)および周知	H29年度から順次実施
9	長期間に及ぶ浸水継続地域、野洲川上流や日野川等の氾濫も想定した広域的な避難計画の作成	R2年度
10	緊急輸送道路も活用した避難経路の検討	R2年度
11	逃げ遅れをなくすため、高齢者及び避難行動要支援者の避難計画の作成	R2年度
12	要配慮者利用施設の避難計画作成や避難訓練等の実施状況の確認	R3年度
13	避難誘導マニュアルの作成	H28年度から順次実施
■防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の充実		
14	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	H28年度から順次実施
15	水災害に対する防災教育に関する指導計画の作成支援および協議会の関連市における全ての学校への共有	H30年度から順次実施
16	小学生等を中心とした避難経路の安全利用点検	H29年度から順次実施
17	「わが家の避難カード」の作成	H29年度から順次実施
18	上記「わが家の避難カード」「避難経路の安全利用点検」の活動支援	H29年度から順次実施
19	避難行動に資する「まるごとまちごとハザードマップ」の整備、計画作成等	H29年度から順次実施
20	地域住民と連携したサイクリングによる避難経路・河川周辺の現地調査	H29年度から順次実施
21	市町村等の取組を支援する専門家のリストを作成および支援結果について協議会等の場で共有	R1年度から実施

草津市	守山市	栗東市	甲賀市	野洲市	湖南市	近江八幡市	彦根地方 気象台	近畿地方 整備局	滋賀県
○	○	○	○	○	○	○			
-	-	-	-	-	-	-			
							○	○	○
継続	継続	継続	継続						
									済
									継続
									済
○	○	○	○	○	○	○			
		-			-		継続	継続	継続
	-	-			-		継続	継続	
継続	○	継続	継続	継続	継続	継続			
○	○	○	○	継続	○	○	○	○	○
継続									
継続	継続	継続	継続	-	継続	継続	継続	継続	継続
継続	検討中	継続	継続	検討中	継続	継続		継続	継続
継続	継続	継続	継続	-	継続				
継続	継続	継続	継続	検討中	継続				
									継続
検討中	検討中	○	○	検討中	○				
	-	-			-		継続	継続	
								済	済

「野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針(案)」に基づく令和2年度の取組予定

○：令和2年度から実施 継続：令和元年度（以前）から実施  
 済：令和元年度までに完了 -：令和2年度は実施しない 検討中：検討中

取組番号	主な取組項目	目標時期
■避難行動のための情報発信等		
22	避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線等の普及(無線のデジタル化等)	引き続き実施
23	避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等	R2年度
24	防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供(配信)	引き続き実施
25	河川の防災情報を集約するためのポータルサイトの更新	引き続き実施
26	住民の避難行動を促すためブッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備	引き続き実施
27	洪水予報文の改良と運用	H28年度から実施
28	水害リスクラインに基づく水位予測及び洪水予報を実施および洪水の最高水位やその到達時間の情報提供など、洪水予報の高度化を推進	R1年度から実施
②確実な避難時間の確保、浸水被害軽減のための水防活動の取組		
■水防体制の強化		
29	水防団員や消防団員の募集の強化	引き続き実施
30	自主防災組織の活用、強化(組織の育成や立上げサポート等)	引き続き実施
31	水防技術に関する勉強会の実施	H29年度から順次実施
32	ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認(タイムラインの活用)	H29年度から順次実施
33	市を越えた水防訓練の検討(広域避難計画の作成後に訓練を実施予定)	H28年度から順次実施
34	防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	H28年度
■水防活動支援のための情報公開、情報共有		
35	重要水防箇所の情報共有と関係市による共同点検(国管理区間)	引き続き実施
36	重要水防箇所について5ヶ年点検計画を作成し、河川管理者と関係市による共同点検(県管理区間)	R3.6
37	水防資機材について、河川管理者、水防活動に関わる関係者が共同して点検を実施	H30年度から順次実施
■適切な土地利用の促進		
38	浸水被害軽減地区を指定する際に参考となる土地に係る情報提供	H30年度から順次実施
39	水防管理者による浸水被害軽減地区の指定及び複数市に影響がある地区の課題共有と、連携した指定	H30年度から順次実施
40	浸水想定区域内の市への水害リスク情報の提供	引き続き実施
41	不動産関連事業者に対し、水害リスク情報の提供	引き続き実施
■市庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進		
42	浸水想定区域内の市庁舎や災害拠点病院等に関する情報提供	H30年度から順次実施
43	浸水想定区域内の施設管理者への情報伝達体制・方法検討	H30年度から順次実施

草津市	守山市	美東市	甲賀市	野洲市	湖南市	近江八幡市	彦根地方気象台	近畿地方整備局	滋賀県
継続									
継続									
								継続	継続
								継続	継続
							済	済	済
								済	
継続									
継続									
継続									
					—		継続	継続	
					—		継続		継続
継続	継続	継続		済					
継続	継続	継続		継続				継続	
継続			継続						
継続	継続	継続	継続	検討中	継続			継続	継続
								済(該当なし)	済
済(該当なし)									
								済	済
									済
								済	済
継続									



# 防災教育の促進について

野洲川地域安全協議会

野洲川地域安全懇談会において、防災教育のモデル校の候補を募集

防災教育のモデル校：栗東市立 葉山小学校

野洲川地域安全協議会とモデル校で連携し、指導計画等を作成



作成した指導計画等は協議会に関連する全ての市へ共有

令和2年度

改訂された新学習指導要領に基づく防災教育として各学校にて授業を実施

■令和2年度から小学校で全面実施される新学習指導要領改正のポイント

・自然災害に関する内容が充実され、「地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること」が求められる。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
22	野洲市固定系防災行政無線システム整備工事について	令和2年度～	野洲市

## 1. 事業の目的

現在の固定系防災行政無線は導入から14年が経過し、老朽化対策が急務となっている。また、昨今の災害が頻発する状況からも音声による現行システムだけでは、災害時の住民への情報伝達には限界があり、新たに防災アプリケーショシヨンの構築や、メール配信サービスの機能拡充等、様々な情報伝達手段を確保し、情報伝達が迅速かつ円滑に行えるよう野洲市固定系防災行政無線システム更新整備を行う。

## 2. 整備概要

### 老朽化した既存設備の更新

- ・工 期 … 令和2年6月26日から令和3年3月31日
- ・契約金額 … 385,000,000円（内消費税及び地方消費税 35,000,000円）
- ・委託先 … 富士通ネットワークソリューションズ株式会社 関西支店
- ・財 源 … 緊急防災・減災事業費【充当率100%（内交付税算入率70%）】
- ・親局設備、遠隔制御設備、屋外拡声子局の更新（既設柱流用）

### 音声合成機能

事前登録した文字入力情報の音声化により放送の迅速化スピーカーの更新による効果

遠距離スピーカーの採用により屋外拡声子局を削減（現在85局）

通常スピーカーの高達距離（250～400m） 遠距離スピーカーの高達距離（400～700m）

音声の均一・明瞭化

設備更新に伴い設備は、一部地域で聞こえにくい等の意見への対応のため高性能化しますが、気象状況や密閉された屋内への音声伝達には限界があるため、以下の機能を整備し市民への情報伝達機能の向上を図ります。



### 防災無線と情報伝達手段との連携

- ・防災無線の放送内容を複数の情報伝達手段へ一元化で自動配信

これまでは防災無線の放送、メール配信、ホームページ更新作業等を個別に実施していましたが、防災無線のワンオペレーションで本事業に於いて構築する防災アプリ、防災WEBサイト、LINE、メール、電話、FAXの複数の情報伝達手段への自動配信の一元化が可能になり情報伝達の効率化、迅速化が図れます。これにより、気象状況や屋内等で放送内容が聞き取れなかった場合でも他の情報伝達手段で同様の防災情報の取得が可能になります。

### 防災WEBサイトの構築

- ・PUSH型（防災アプリやメール配信）の配信内容をWEBサイトに掲載  
アプリのインストールやメールの事前登録をしていない住民のために、PUSH型の配信情報が専用WEBサイトで確認できます。

### メール配信サービス「すぐメール」の機能拡張

- ・複数の情報伝達手段への配信

これまで防災情報等は登録したメールアドレスのみに配信していましたが、機能拡張によりスマートフォンアプリの野洲市防災アプリ、LINE、電話、FAXへの配信が可能になり、各個人の状況により情報取得手段の選択ができますようになります。

### 【機能拡張後の情報伝達手段】

防災アプリ … 文字・音声配信      LINE … 文字を配信      メール … 文字を配信

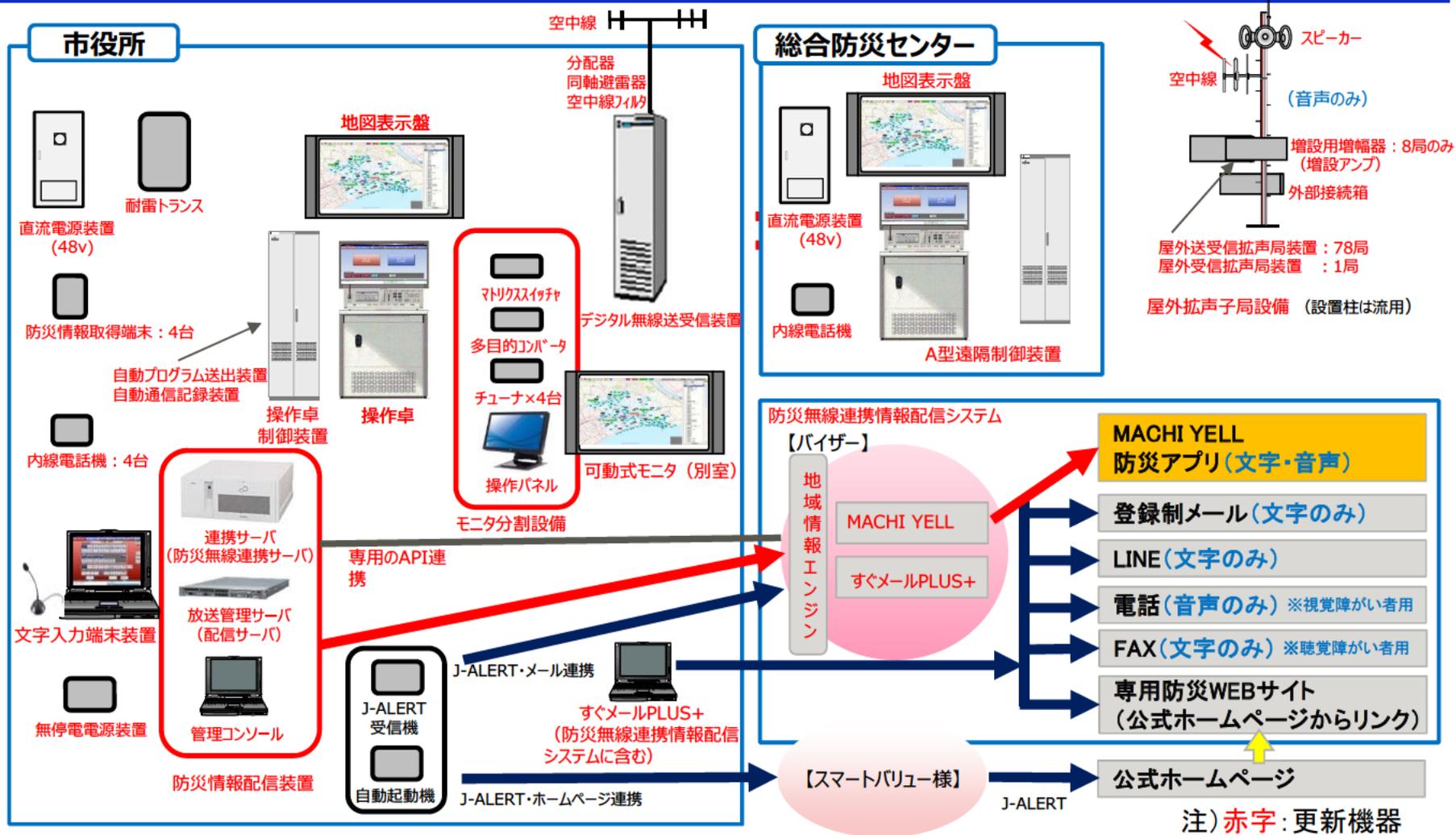
電話 … 音声配信（視覚障がい者用）※

FAX … 文字を配信（聴覚障がい者用）※

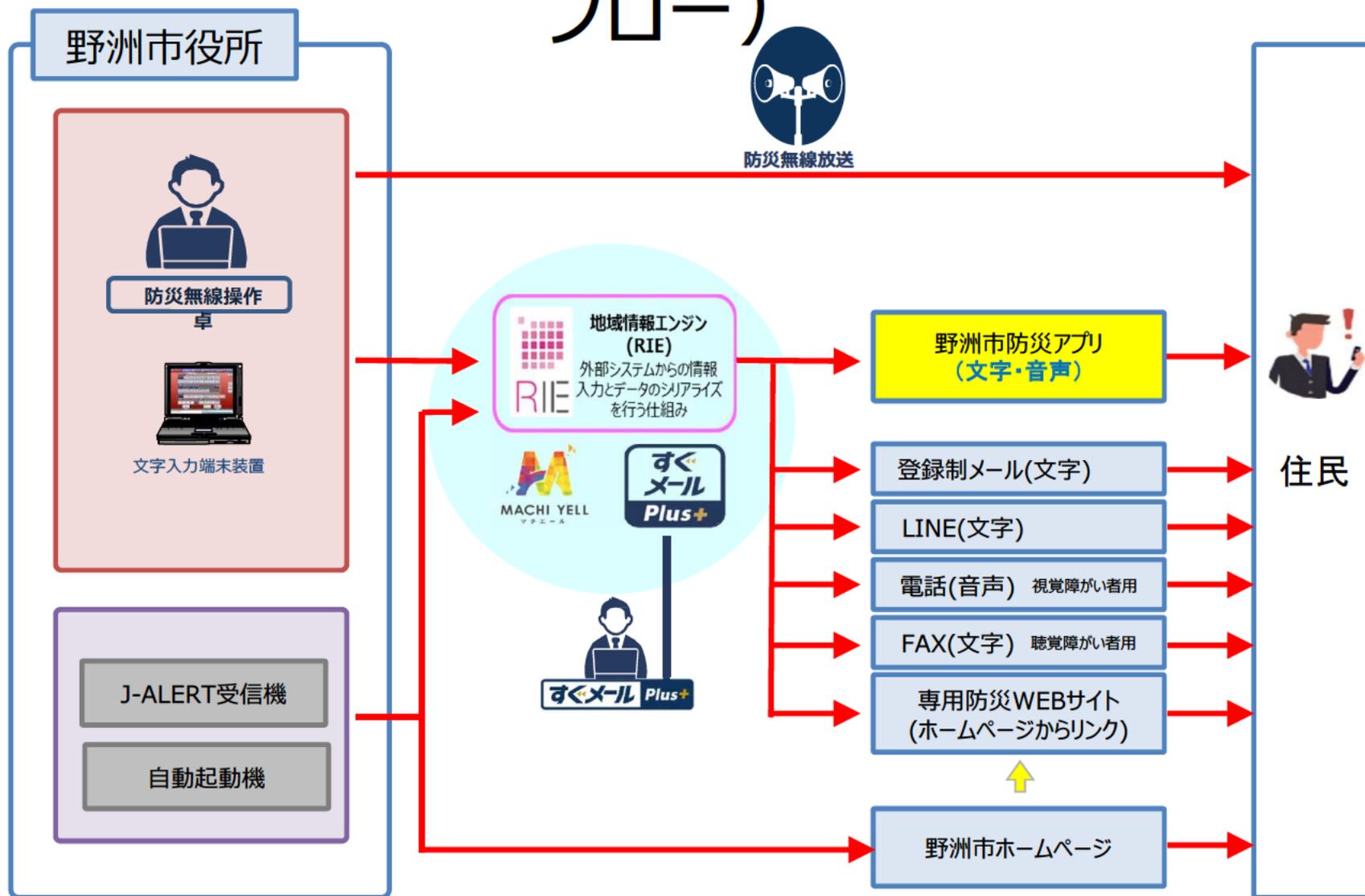
※今回の事業により複数の手段へ防災情報の配信が可能になることから既存の個別受信機は廃止しますが、災害時避難行動要支援者（視覚、聴覚障がい者）には代替え機能として電話、FAXへ登録制により情報配信を行います。

野洲市固定系防災行政無線システム整備工事

野洲市



# 新しい住民通知サービス (情報伝達フロー)



# 新しい住民通知サービス (防災アプリ)

## 年齢、性別、障害の有無にかかわらず利用しやすい情報バリアフリーの防災アプリ

### お知らせ機能

②緊急情報とお知らせ情報  
住民に緊急な対応を求める人命にかかわる情報と一般情報を分けて表示することで、住民に**情報の重要度**に合わせたお知らせの提供ができます。

文字の大きさ変更や、音声で確認が可能



①メニュー (全メニュー表示)  
設定メニュー、全分野にアクセスできるメニュー表示

### 防災関連機能

④安否情報確認機能  
発災時の安否確認のため、広く住民に認知されている安否登録・安否確認サービス (外部) へ誘導します。

⑤リンク表示機能  
防災に関するリンクを集めたリンク集ページを提供します。

### 強制再生・サイレン通知

※防災無線の個別受信機のように命に関わる災害発生情報などの重要な情報は、**緊急サイレン通知を行う機能**によって、高い確率で住民に情報を伝えることができます。さらに**通知と同時の音声放送を流す機能**も備えており、確実性をより高めます。

### 地図機能



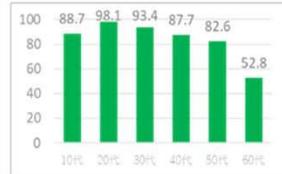
⑥固定フッター  
縦スクロールになるスマホ画面に固定フッターを設置  
**どんな画面からでも重要メニューに戻れる**ようにします。

# 新しい住民通知サービス

## LINE（地方公共団体プラン）の活用

### LINEを活用するメリット

▶ 既に多くの人が利用している



▶ 受信登録がカンタン

1. 検索or QR
2. 友だち登録
3. 受信設定

アプリのインストールを難しく感じる方でもLINEからの通知には慣れていていることが多いです。

そういった住民がLINEからアプリの防災コンテンツと緊急配信された防災情報を確認できるようにします。アプリと自動連携されますのでLINEへの作業は必要ありません。



アプリに通知された防災情報

アプリと同様な  
防災マップ等コンテンツ

## 専用防災WEBサイトの活用

アプリをインストールしていない住民でもアプリの防災コンテンツと緊急配信された防災情報をWEBサイトからも確認できるようにします。

アプリと自動連携されますのでWEBサイトの管理作業は必要ありません。



※制作一例 三股町防災アプリと防災WEBサイト

## アプリに加え、メール・LINE・電話・FAXによる一斉配信

ASP管理画面からの情報配信時には、配信メディアから選択することで、登録済みの各メディアへ一斉送信致します。

高齢者などスマホを持っていない住民への情報伝達として、使い慣れている電話への架電や福祉施設などに対し、FAXで一斉送信をする。

- 1 配信対象を選択
- 2 配信内容を入力
- 3 配信方法を選択
- 4 配信



### 配信メディアにチェック！

- 配信メディア（すべて）
- 防災アプリ・WEBサイト
  - メール
  - LINE
  - 電話
  - FAX

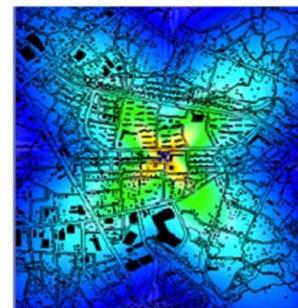
※将来メディアを追加することも可能  
配信したい媒体に対してチェックを入れる  
だけの簡単な操作です。  
媒体を組み合わせた情報配信は  
もちろん、全媒体に対する一斉  
配信も可能です。



# 高性能スピーカー

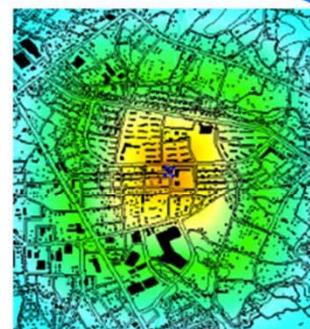
## 従来スピーカーの課題

- ・水平方向の音の広がりには差があり、明瞭性が悪くなる  
⇒ 従来スピーカーは、スピーカー間に音圧差が発生してします・・・
- ・鳴動カバー率を上げるために「子局」数が多くなる・・・  
⇒ 音が重なり明瞭性低下



## 高性能スピーカーにより

- 【特長1】従来スピーカーに比べ約2倍の距離まで届き、子局節減  
+子局同士の音の重なりが減らせるため、明瞭性向上
- 【特長2】水平に広く放送でき、音圧差を軽減、明瞭に伝わる



重量 約13.5kg  
軽量設計

# 操作性の向上

## 操作性の向上

操作卓の長寿命化に併せ、操作卓制御部の高機能化を行い、操作性を向上させ防災行政無線の運用能力を向上させます。

- 放送ごとに簡単な操作で情報配信先を選択することが可能
- 操作部は23インチ高精細タッチスクリーンを採用し、対話方式による簡単な操作を実現【放送動作選択画面】



(対話方式操作例)

操作説明	操作履歴
放送内容を確認し、【呼出】ボタンを押してください。	13:30:26 放送を開始します。よろしいでしょうか。 13:30:50 放送開始

### ① 繰り返し放送機能

**繰り返し有** の押下により、予め設定された回数を繰り返して放送します。

### ② テレホンサービス機能

**テレガイド有** の押下により、放送を聞き逃した住民が一般電話にて放送内容の確認を問い合わせできます。

### ③ 情報配信の選択機能

放送呼出前に情報配信先を選択することで多様なメディアへの緊急放送の一括配信が可能です。

### ④ 対話方式による簡単な操作を実現

# 操作性の向上

## 文字入力端末

文字入力端末は、操作卓が障害等により操作不能になった場合にも、親局無線装置に**直接本装置を接続して放送を行うことが可能**です。また通常運用時には、**自席に在席しながら簡単な操作で放送等を行うことができるようになります。**

**操作卓と同一画面・操作・データ共有が可能のため、放送操作を含め操作卓と同等の運用が可能です**

### 優れた可搬性

文字入力端末は可搬性に優れた、ノートPC型によるLAN接続運用を採用しており、操作卓障害時の親局無線接続の他、災害対策室発足時にもネットワーク環境があれば、放送用端末として災害対策室での設置、運用が可能です。  
また、ノートPC型の為、停電時においてもバッテリー駆動による運用が可能です。

ワンタッチキーによる一斉配信  
ワンタッチ登録による簡単放送が可能です

音声合成・テキストによる予約放送

音声合成（男性・女性・速度可変）  
テキスト（配信先ごとにメッセージ編集が可能）

緊急時における肉声放送

緊急時には、肉声による即時放送も可能です  
※繰り返し放送にも対応



文字入力端末

# 河川情報発信等の改善

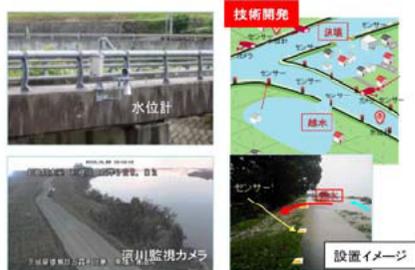
## 琵琶湖河川事務所、滋賀県

### 1. 決壊・越水等の確認と洪水予報の発表

河川監視カメラ、水位計の増設等による洪水監視体制の強化

- ・簡易型カメラ、危機管理型水位計の増設(R2年度内)
- ・越水・決壊等検知センサーの技術開発(R2年度～)

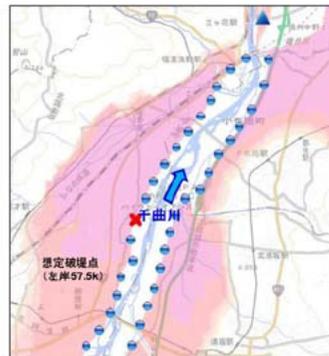
(対応案)



氾濫の危険性が高く、重要施設や人家への影響が大きい箇所への河川監視カメラ、水位計の増設等により洪水監視体制を強化

氾濫発生が想定される箇所では洪水予報文を事前に用意(R2.6)

(対応案)

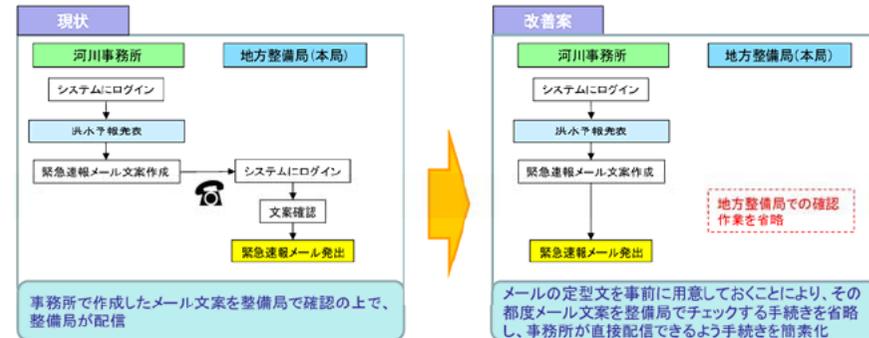


破堤点ごとの浸水想定図を事前に準備しておき、氾濫発生時には洪水予報文に別紙で添付

### 2. 緊急速報メールによる河川情報提供

メール配信手続きの簡素化

- ・メールの定型文を事前に用意しておくことで、整備局での確認手続きを省略し、事務所からメールを直接配信(R2.6～)



メール文章の改善

- ・危機感が伝わる簡潔なメール文に改善(R2.6)

改善案

文章を簡潔にするとともに、重要な情報から順に記載

【レベル4相当】  
氾濫発生の恐れ  
警戒レベル4相当

多摩川が氾濫の恐れ

田園調布(大田区)付近で氾濫危険水位に到達、今後さらに水位が上昇し、氾濫が発生する危険があります

安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。今後、氾濫が発生すると、避難が困難になるおそれがあります(国土交通省)

【レベル5相当】  
氾濫発生  
警戒レベル5相当

越辺川で氾濫が発生

東松山市正代地先、川越市平塚新田地先で堤防が壊れ、河川の水が住宅地などに押し寄せています

命を守るための適切な防災行動をとってください(国土交通省)

### 3. 大雨特別警報解除後の洪水に係る情報提供

切替時に今後の水位上昇の見込みなどの「河川氾濫に関する情報」を発表

- ・「解除」という言葉を「大雨警報に切替」に変更(R2.6~)
- ・今後の水位上昇の見込みなどの「河川氾濫に関する情報」を発表(R2.6~)
- ・本省庁等の合同会見などあらゆる手段で注意喚起(R2.6~)

**大雨特別警報の切替に合わせて「河川氾濫に関する情報」を発表**

今後の水位上昇の見込みなどの「河川氾濫に関する情報」を発表し、引き続き警戒が必要であること、大河川においてはこれから危険が高まることを注意喚起

発表機関	発表状況	今後の見込み
国土交通省	国土交通省発表	水位上昇中
東京都	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
埼玉県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
千葉県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
神奈川県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
静岡県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
愛知県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
岐阜県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
富山県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
石川県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
福井県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
山梨県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
長野県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
新潟県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
秋田県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
岩手県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
宮城県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中
福島県	国土交通省発表(レベル4相当)	水位上昇中

**メディア等を通じて住民へ適切に注意喚起**

メディア等を通じて住民への適切な注意喚起を図るため、予め本省庁等の合同記者会見等による周知を図るとともに、SNSや気象情報等あらゆる手段で注意喚起を実施

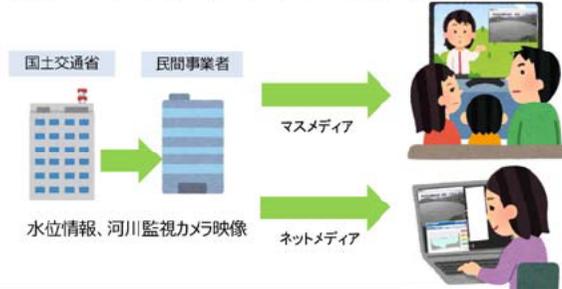


### 民間事業者を通じた情報提供のための体制構築

- ・NHK、ヤフーに加え、協力事業者をさらに拡大(R2.6)

#### ○ 情報提供事業者の公募、拡大

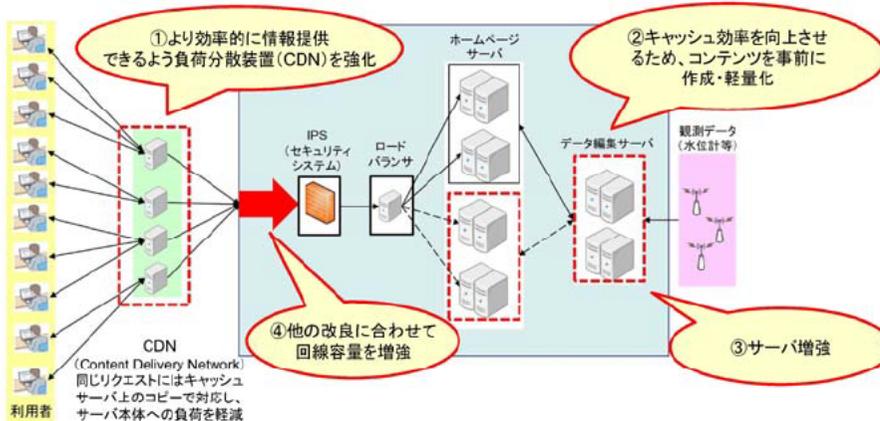
⇒ 水位情報や河川監視カメラ映像等を配信していただける民間事業者を募集し、マスメディア、ネットメディア等を通じて洪水時の緊急性・切迫性を広く情報発信する。



### 4. 河川・気象情報の提供の改善・充実

サイトを構築するシステムを強化、処理能力を向上

- ・通信回線やサーバ等の強化(R2.6)



### 平時からのメディアとの情報共有、解説資料の充実

- ・メディア等との勉強会、解説資料の配付(R2.6)
- ・分かりやすい防災用語検討委員会開催(R2.4~)

#### ○ 災害情報用語・表現の改善

⇒ 分かりやすい用語への見直しを行うため検討会を設置

#### ○ 読み仮名データベースの作成

⇒ 河川名、観測所名、地名などについて読み方を検索できるデータベースを作成

#### ○ メディア等への事前説明、勉強会の開催

⇒ メディア連携協議会等を活用し、地域に根ざした情報の提供について勉強会等を開催する

#### ○ 大雨時に利用可能なコンテンツを作成

⇒ メディアや気象キャスターが分かりやすく洪水の切迫性を視聴者に伝えるためのコンテンツを作成



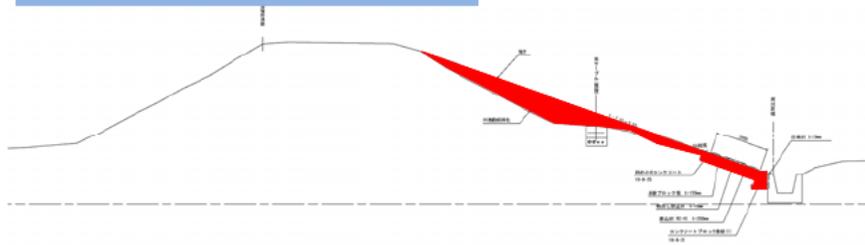
地方でのメディア協議会において連携策と情報共有方を検討

野洲川(国管理区間)における危機管理型ハード対策  
及び洪水を安全に流すためのハード対策(浸透対策)の実施

琵琶湖河川事務所

■ 野洲川(国管理区間)においては、1箇所に危機管理型ハード対策及び浸透対策を施工予定

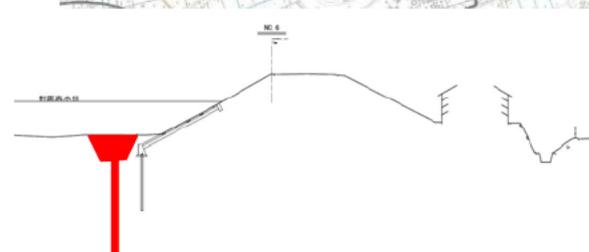
危機管理型ハード対策



新庄地区 法尻補強工事  
右岸4.0k付近～4.8k付近



洪水を安全に流すためのハード対策(浸透対策)

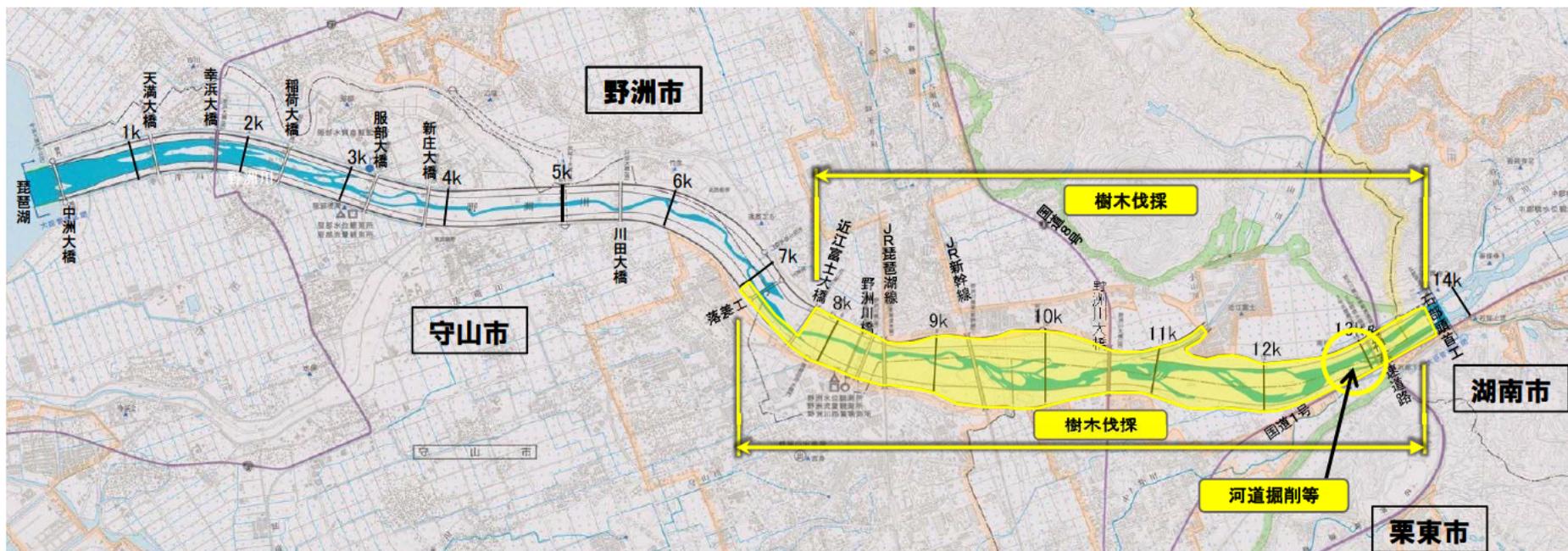


新庄地区 堤防補強工事  
右岸4.0k付近

※R2.6.26完成予定

# 河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去等

- 平成30年7月豪雨等の災害を踏まえ実施した重要インフラ緊急点検結果に基づき、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、河道掘削、樹木伐採を継続実施予定。



- 洪水の流下を阻害するなど河川管理上支障となる河道内樹木について、計画的に伐採を実施するとともに、平成27年度より民間活力を活かした樹木伐採の公募を継続予定。

## 樹木伐採後イメージ



## 樹木伐採の公募状況



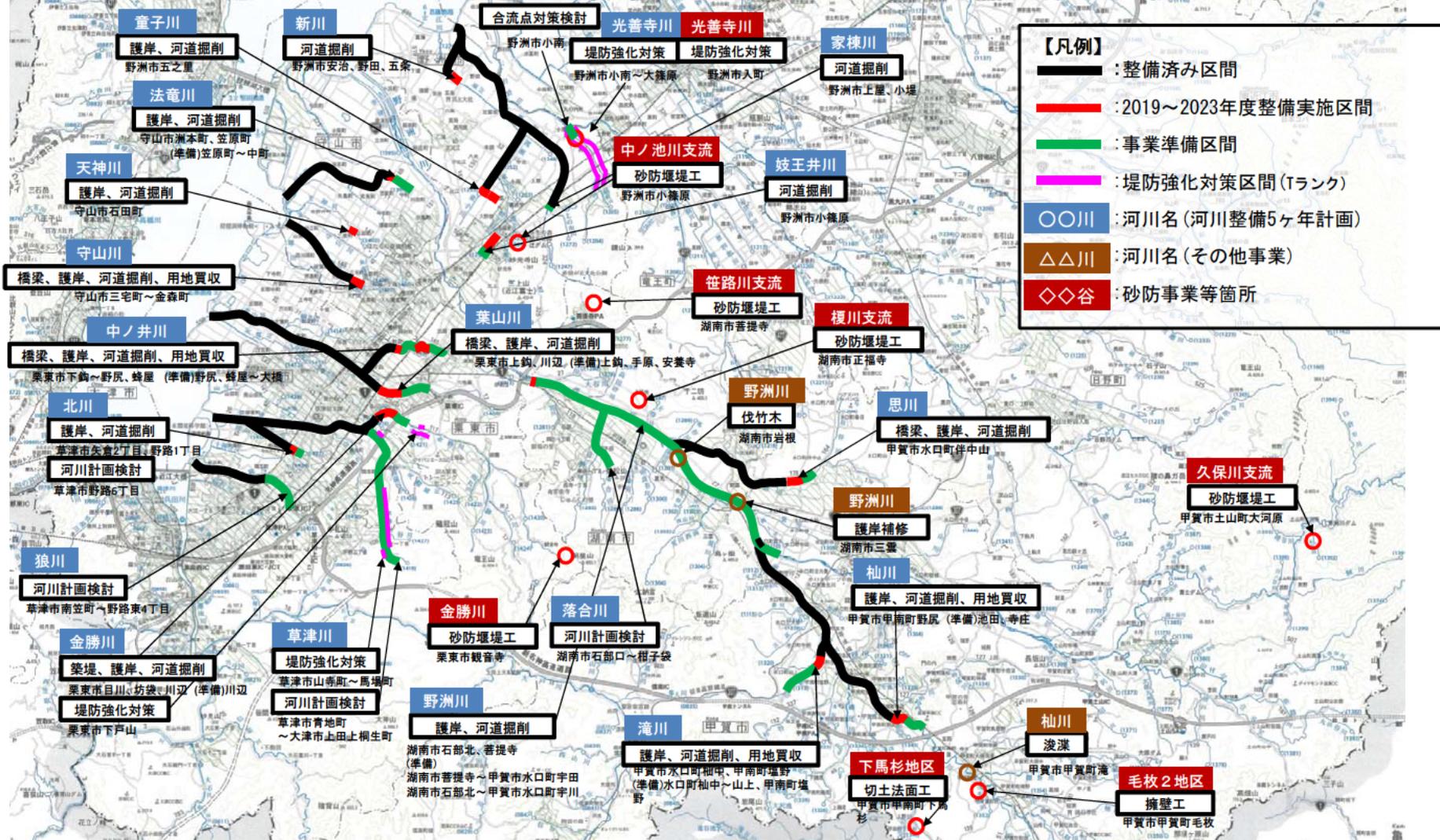
# ハード対策の主な取組（県管理河川、土砂災害防止施設）

<取組番号55、58>

滋賀県

<取組55> 「滋賀県河川整備5ヶ年計画(平成31年3月)」に基づく県管理河川の改修および堤防強化【引き続き実施：滋賀県】  
土砂災害防止施設の整備【引き続き実施：滋賀県、甲賀市】

<取組58> 「南部土木事務所管内維持管理計画」、「甲賀土木事務所管内維持管理計画」に基づく維持管理【引き続き実施：滋賀県】



# 令和2年度ホットライン説明資料

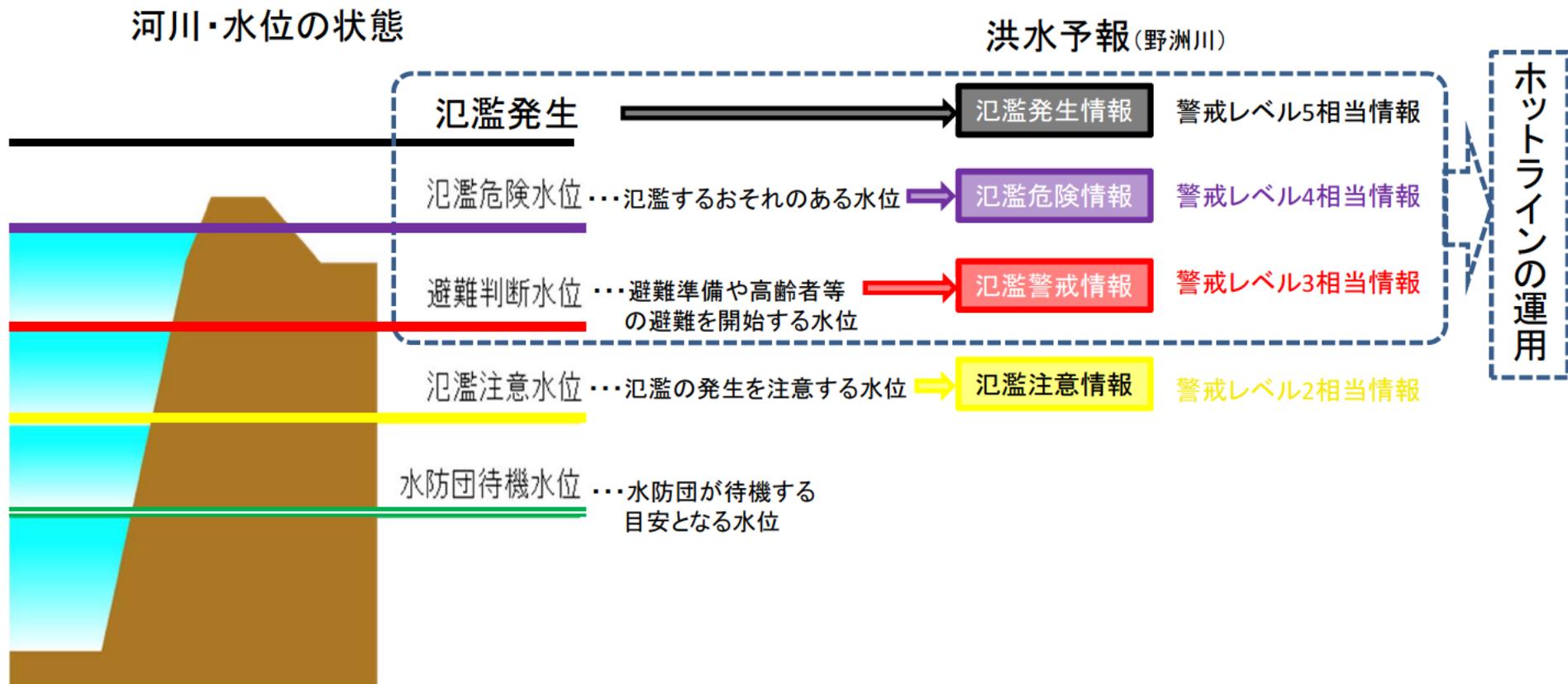
野洲川および甲賀・湖南圏域版

<取組番号4>

# 洪水予報河川・水位周知河川について

洪水予報河川:野洲川下流(野洲観測所【国】)、野洲川上流(横田橋・水口橋観測所【県】)  
    杣川(北杣橋観測所【県】)、日野川(桐原橋・安吉橋観測所【県】)

水位周知河川:草津川(西矢倉観測所【県】)



## 水位観測局位置図(野洲川および甲賀・湖南圏域)

- 避難の基準水位は複数の観測所で設定されています。

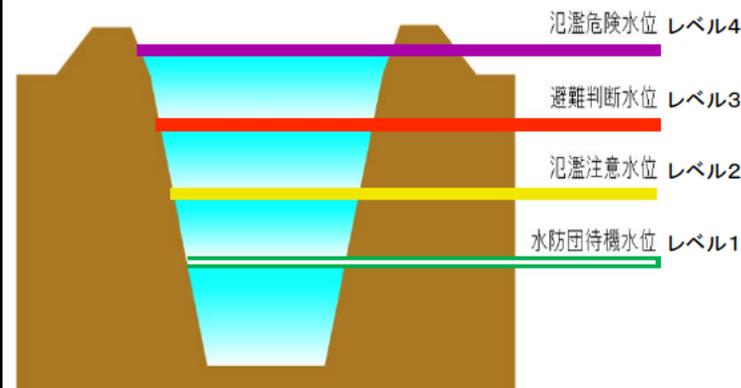


# ホットラインの具体的な運用 <取組4>

河川管理者(国・県)	市町		
水位・情報	双方向のホットライン		発令等
氾濫危険水位 (レベル4水位)	琵琶湖河川 事務所長 土木事務所長	市長 (副市長・部長)	避難勧告
避難判断水位 (レベル3水位)	琵琶湖河川 事務所長 土木事務所 河川砂防課長	防災担当 課長	避難準備・ 高齢者等避難開始
氾濫注意水位 (レベル2水位)			消防団が出動
水防団待機水位 (レベル1水位)			消防団が待機

## ホットラインの主な内容

- ◆ 現状到達水位、予想到達水位情報
- ◆ その時点で判明している河川の損壊箇所や浸水発生等の情報



水位の名称	発表される避難 情報(目安)	野洲川下流	野洲川上流		杣川	日野川		草津川
		野洲	横田橋	水口橋	北杣橋	桐原橋	安吉橋	西矢倉
氾濫危険水位 (レベル4水位)	避難勧告 避難指示(緊急)	4.80	3.90	1.45	4.00	5.10	4.10	4.30
避難判断水位 (レベル3水位)	避難準備 ・高齢者等避難開始	4.30	3.50	1.20	3.50	3.80	3.40	3.40
氾濫注意水位 (レベル2水位)	消防団が出動	3.50	2.50	1.00	3.00	3.00	2.70	3.10
水防団待機水位 (レベル1水位)	消防団が待機	2.50	1.50	0.65	2.00	1.80	1.80	2.30
避難判断水位から氾濫するまでの想定時間			4時間	3時間	3時間	2.8時間	2時間	4.5時間

# ホットライン・緊急速報メールの配信のタイミング <取組4・26>

## ● 緊急速報メールの配信

河川名	基準観測所 (位置)	配信対象市町村
瀬田川	関ノ津 (大津市)	大津市
	鳥居川 (大津市)	
野洲川	野洲 (野洲市)	近江八幡市、草津市、 守山市、栗東市、 野洲市、湖南市

緊急速報メール配信  
④ 氾濫のおそれ  
⑤ 氾濫発生



(件名)  
氾濫のおそれ

(本文)  
警戒レベル4相当

野洲川で氾濫のおそれ

野洲(野洲市)付近で河川の水位が上昇、  
氾濫が発生する危険があります

自治体からの情報を確認し、安全確保を  
図るなど速やかに適切な防災行動をと  
ってください。今後、氾濫が発生すると、避  
難が困難になります

(国土交通省)

プッシュ型配信  
配信内容【見本】

## ● 河川水位と洪水予報など



※ 水防警報は、野洲川では野洲観測所の水位を発令の基準にしています。

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組 ～緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信～

○国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を実施。  
 ○瀬田川・野洲川では、平成29年5月1日から氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するための情報を配信。



○洪水の緊急速報メール文章改善(令和2年出水期から運用開始)

- ・文章を短く(直接的な情報を有さない部分は削除)
- ・「氾濫危険水位」など専門用語は使用しない
- ・自治体からのメールとの違いを明確に

レベル4	レベル5破堤	レベル5越水
<p>(件名) 氾濫のおそれ</p> <p>(本文) 警戒レベル4相当</p> <p>野洲川で氾濫のおそれ</p> <p>野洲(野洲市)付近で河川の水位が上昇、氾濫が発生する危険があります</p> <p>自治体からの情報を確認し、安全確保を図るなど速やかに適切な防災行動をとってください。今後、氾濫が発生すると、避難が困難になります</p> <p>(国土交通省)</p>	<p>(件名) 氾濫発生</p> <p>(本文) 警戒レベル5相当</p> <p>野洲川で氾濫が発生</p> <p>●●市●●地先(●●側)で堤防が壊れ、河川の水が住宅地などに押し寄せています</p> <p>命を守るための適切な防災行動をとってください</p> <p>(国土交通省)</p>	<p>(件名) 氾濫発生</p> <p>(本文) 警戒レベル5相当</p> <p>野洲川で氾濫が発生</p> <p>●●市●●地先(●●側)付近で河川の水が堤防を越えて住宅地などに押し寄せています</p> <p>命を守るための適切な防災行動をとってください</p> <p>(国土交通省)</p>